

地方会議（宮城県大崎市）

1. 日時、場所

平成24年4月14日（土） 13時30分～15時30分
芙蓉閣 2階 ミッドスクエア

2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 115名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	31
資金調達	0
経営指導・経営支援	8
技術力・人材（技能承継等）	4
取引関係（下請取引・流通構造等）	1
販路開拓（海外展開等）	2
若手・青年層の活力発揮	4
女性層の活力発揮	1
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	3
その他	8

（2）主な意見

【経営指導・経営支援】

- ・国の支援策は、作成すべき書類が多すぎて、使いづらい。
- ・グループ補助金を活用。予算の繰越をしてもらったが、沿岸部は盛土も出来ていない所もあるため、1年の延長では不足。現地の状況に即した支援を。
- ・既存の施策の枠組みに当てはまらないような、地域独自の取組に対しても柔軟に支援してほしい。
- ・経営革新計画の認定取得にあたっては、商工会指導員の手厚い支援を受けた。中小企業支援機関への支援は結果的に中小企業にも裨益。引き続き支援をお願いしたい。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・中小企業で、従業員が法定の有給休暇日数を全て消化したら、会社は倒産

する。労働関係法令は知らないうちに改正されてしまうし、実態に合わないものが多い。

- ・求職者に対する訓練だけではなく、在職者に対する訓練にも手厚い支援を。

【取引関係（下請取引・流通構造等）】

- ・燃料代・原材料費の高騰を、製品価格に転嫁出来ない。為替の問題もある。海外の企業に負けない為にも、中長期的な支援を要望。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・社員に対し、お金ではなく価値を提供したいと思い、為替の問題で利益は出ないものの、海外輸出を積極的に行っている。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・経営者のリスクは非常に高い。失敗したら人生そのものを失ってしまう。アイデアを持つ人が起業しやすい環境整備を要望。
- ・後継者が他の企業で学ぶ、丁稚奉公のようなプログラムがあればよい。自社に居ては見えないことに気づくよい機会。

【女性層の活力発揮】

- ・都会の生活に疲れた女性が、田舎で活躍できるような仕組みがあるとよい。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・商店街活性化の為には、地域住民の安心・安全の確保、地域コミュニティや雇用の場の維持といった、中心市街地の役割を認識してもらうことが重要。
- ・ITスキルの高い若手が高齢の商店経営者をサポートするような仕組みがあるとよい。
- ・商店街だけでなく、地域のコミュニティを支える小さな個店にも、実情に応じて支援を。

【その他】

- ・事業承継税制は使いづらい。個人事業主に至っては事業承継の為の特別措置すらない。事業用資産が次世代にスムーズに承継できる仕組みの構築を。
- ・頑張って働くより生活保護をもらった方がよいという声もよく聞く。勤労意欲が沸くような制度に改善を望む。